

東北厚生局長 殿

開設者名 公立大学法人福島県立医科大学  
理事長 菊地 臣

公立大学法人福島県立医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 22 年度の業務  
に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第 10) ✓
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第 11) ✓
- 3 高度の医療に関する研修の実績 ✓

研修医の人数	120.1 人
--------	---------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照 (様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照 (様式第 13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	305人	141人	426.1人	看護補助者	46人	診療エックス線技師	人
歯科医師	3人	7人	8.4人	理学療法士	9人	臨床検査技師	63人
薬剤師	31人	人	31.0人	作業療法士	4人	衛生検査技師	人
保健師	人	人	人	視能訓練士	5人	その他	人
助産師	33人	人	33.0人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	人
看護師	659人	14人	666.7人	臨床工学技士	13人	医療社会事業従事者	13人
准看護師	3人	1人	4.0人	栄養士	2人	その他の技術員	9人
歯科衛生士	2人	人	2.0人	歯科技工士	人	事務職員	94人
管理栄養士	6人	人	6.0人	診療放射線技師	40人	その他の職員	103人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	592.6人	3.7人	596.3人
1日当たり平均外来患者数	1,507.2人	29.3人	1,536.5人
1日当たり平均調剤数	928.2剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数 (毎日の 24 時現在の在院患者数の合計) を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。



高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
インプラント義歯 ✓	8人
超音波骨折治療法 ✓	0人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法 ✓	4人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補強 ✓	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

### 高度の医療の提供の実績

#### 2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
カフェイン併用化学療法 /	6人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節生検 /	0人
重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病に対する心停止ドナーからの膵島移植 /	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示  
第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	158人	・膿疱性乾癬	8人
・多発性硬化症	71人	・広範脊柱管狭窄症	2人
・重症筋無力症	128人	・原発性胆汁性肝硬変	163人
・全身性エリテマトーデス	437人	・重症急性膵炎	20人
・スモン	1人	・特発性大腿骨頭壊死症	6人
・再生不良性貧血	117人	・混合性結合組織病	70人
・サルコイドーシス	198人	・原発性免疫不全症候群	6人
・筋萎縮性側索硬化症	35人	・特発性間質性肺炎	73人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	249人	・網膜色素変性症	32人
・特発性血小板減少性紫斑病	171人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	12人	・肺動脈性肺高血圧症	14人
・潰瘍性大腸炎	205人	・神経線維腫症	41人
・大動脈炎症候群	39人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	7人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	5人
・天疱瘡	70人	・慢性血栓性肺高血圧症	0人
・脊髄小脳変性症	41人	・ライソゾーム病	0人
・クローン病	57人	・副腎白質ジストロフィー	3人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	18人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	30人
・悪性関節リウマチ	29人	・脊髄性筋萎縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	273人	・球脊髄性筋萎縮症	0人
・アミロイドーシス	54人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	10人
・後縦靭帯骨化症	18人	・肥大型心筋症	84人
・ハンチントン病	3人	・拘束型心筋症	1人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	10人	・ミトコンドリア病	1人
・ウェグナー肉芽腫症	7人	・リンパ管筋腫症(LAM)	2人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	38人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	10人	・黄色靭帯骨化症	97人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	10人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH 分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	365人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・超音波骨折治療法(四肢骨折のうち、開放骨折及び粉碎骨折)	・
・画像等手術支援加算(実物大臓器立体モデルによるもの)	・
・悪性腫瘍組織検査(抗悪性腫瘍剤感受性検査HDRA法又はCD-DST法)	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	月6回実施
部 検 の 状 況	部検症例数 39 例 39 / 328 部検 12.30%

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
特発性心筋症に関する調査研究	竹石恭知	循環器・血液内科学講座	300千円	補委 厚生労働省 難治性疾患克服研究事業
抗老化蛋白SMP30を用いた心不全の新規治療戦略	竹石恭知	循環器・血液内科学講座	1,100千円	補委 日本学術振興会 科学研究費
心アミロイドーシスに対するICD併用自己末梢血管細胞移植の有用性の検討	小川一英	循環器・血液内科学講座	700千円	補委 日本学術振興会 科学研究費
PNHにおけるペプチドワクチンによる免疫療法の可能性	野地秀義	循環器・血液内科学講座	1,500千円	補委 日本学術振興会 科学研究費
新たな手法によるPNHクローンの拡大抑制に関する基礎的検討	七島 勉	循環器・血液内科学講座	1,800千円	補委 日本学術振興会 科学研究費
血管炎症における新規分子MT1-MMPの関与	杉本浩一	循環器・血液内科学講座	2,100千円	補委 文部科学省 科学研究費
慢性心不全における睡眠時無呼吸症候群に対する順応性自動制御換気療法の効果の検討	義久精臣	循環器・血液内科学講座	1,100千円	補委 文部科学省 科学研究費
心肥大における炎症反応性物質PTX3の役割	鈴木 聡	循環器・血液内科学講座	500千円	補委 福島県立医科大学 研究支援事業
合成DNAマイクロレイシステムによる白血病予後予測キットの開発	眞下由美子	循環器・血液内科学講座	300千円	補委 福島県立医科大学 研究支援事業
加齢による代謝性冠循環調節障害の基礎的検討 -SMP30ノックアウトマウスを用いて-	宮田真希子	循環器・血液内科学講座	300千円	補委 福島県立医科大学 研究支援事業
難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究	大平弘正	消化器・リウマチ膠原病内科学講座	400千円	補委 厚生労働省 科学研究費
肝炎・肝硬変に対する抗ウイルス剤以外の治療法に関する研究	大平弘正	消化器・リウマチ膠原病内科学講座	500千円	補委 厚生労働省 科学研究費
プロテオミクスを用いた自己免疫性肝炎における自己抗体の網羅解析	大平弘正	消化器・リウマチ膠原病内科学講座	600千円	補委 文部科学省 科学研究費基盤研究(C)
肺癌予防としての慢性肺炎早期診断法の確立-マイクロバブル造影超音波内視鏡検査-	入澤篤志	消化器・リウマチ膠原病内科学講座	500千円	補委 文部科学省 科学研究費基盤研究(C)
非アルコール性脂肪肝炎(NASH)状態における性ホルモンの影響の解析	高橋敦史	消化器・リウマチ膠原病内科学講座	600千円	補委 文部科学省 科学研究費若手研究(B)
TLR9によるB細胞の機能調節と炎症性腸疾患治療への応用	片倉響子	消化器・リウマチ膠原病内科学講座	1600千円	補委 文部科学省 科学研究費若手研究(B)
膵臓癌に対する超音波内視鏡を用いた微量放射線源局注療法と化学療法併用の試み	高木忠之	消化器・リウマチ膠原病内科学講座	1400千円	補委 文部科学省 科学研究費若手研究(B)
小型光ファイバープローブを用いたinterventional EUSの新たな展開-経消化道的腹腔内視鏡と病理診断-	鈴木玲	消化器・リウマチ膠原病内科学講座	500千円	補委 内視鏡医学研究振興財団平成22年度研究助成(B)
内視鏡的粘膜下層剥離後の胃排出機能と憎悪因子に関する研究	渡辺晃	消化器・リウマチ膠原病内科学講座	270千円	補委 福島県立医科大学 研究支援事業 奨励研究
2型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とランダム化比較試験	渡辺 毅	腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座	138万	補委 厚生労働省
今後の特定健康診査・保健指導における慢性腎臓病(CKD)の位置付けに関する検討	渡辺 毅	腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座	1,870万	補委 厚生労働省
医療連携モデルを基盤とした総合診療系医と領域別専門医制度の検討	渡辺 毅	腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座	814万	補委 厚生労働省

アレルギー疾患の自己管理と個別化医療を目指した早期判断基準と早期治療法の確立およびその有効性と有害現象の評価に関する研究	棟方 充	呼吸器内科学講座	900千円	補委	科学研究補助金
成人を対象とした気管支喘息患者に対する効果的な保健指導の実施に関する調査研究	棟方 充	呼吸器内科学講座	800千円	補委	科学研究補助金
細胞死回避による免疫寛容誘導の機構解明とその展開	後藤満一	臓器再生外科学講座	5,500千円	補委	日本学術振興会科学研究費
新規糖鎖解析システム(SMME法)を用いた癌特異的糖鎖抗原の探索	後藤満一	臓器再生外科学講座	3,000千円	補委	日本学術振興会科学研究費
細胞組織工学を用いた膵島細胞シートの多次元化によるインスリン分泌機能の構築	伊勢一哉	臓器再生外科学講座	600千円	補委	日本学術振興会科学研究費
細胞死に伴うHMGB-1を標的とした移植片長期生着効果の誘導	斎藤隆晴	臓器再生外科学講座	1,100千円	補委	日本学術振興会科学研究費
若年発症 I 型糖尿病に対する再生膵島移植-ティッシュエンジニアリングの利用	山下方俊	臓器再生外科学講座	1,000千円	補委	日本学術振興会科学研究費
膵癌の治療抵抗性に関する樹状細胞を中心とした細胞性免疫学的検討	見城 明	臓器再生外科学講座	1,000千円	補委	日本学術振興会科学研究費
新規免疫抑制療法を併用する臨床膵島移植の開発	後藤満一	臓器再生外科学講座	42,458,465円	補委	文部科学省橋渡し研究支援推進プログラム
消化器がん外科診療の質を評価する指標の開発とがん医療の均てん化の推進	後藤満一	臓器再生外科学講座	14,314千円	補委	厚生労働省科学研究費
細胞増殖に対する免疫監視機構を標的とした新規腫瘍マーカーの開発	鈴木弘行	臓器再生外科学講座	500千円	補委	福島県立医科大学研究支援事業(育成研究)
iPS細胞を用いた癌に対する細胞免疫療法の開発	星野実加	臓器再生外科学講座	500千円	補委	福島県立医科大学研究支援事業(育成研究)
胃癌原発巣、センチネルリンパ節におけるSHH pathwayと癌幹細胞の動態解析	佐瀬善一郎	臓器再生外科学講座	500千円	補委	福島県立医科大学研究支援事業(育成研究)
臨床膵島移植の成績向上を目指した移植用膵島分離技術の改良	芳賀淳一郎	臓器再生外科学講座	314,620円	補委	福島県立医科大学研究支援事業(海外研究)
大腸癌におけるING2遺伝子発現の臨床学的意義の検討	隈元謙介	器官制御外科	500千円	補委	文部科学省科学研究費
多発性内分泌腫瘍症 I 型および2型の診療実態調査と診断治療指針の作成	鈴木眞一	器官制御外科	1,500千円	補委	文部科学省科学研究費
大腸癌におけるING2遺伝子発現の臨床学的意義の検討	竹之下誠一	器官制御外科	50千円	補委	文部科学省科学研究費
ポストゲノム時代における良性脳腫瘍のエピジェネティクス・バイオマーカーの開発	齋藤 清	脳神経外科	790千円	補委	日本学術振興会科学研究費



## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Fukushima J Med Sci 56 (2), 151-156, 2010	A long-term remission of renal amyloidosis with nephrotic syndrome after autologous peripheral blood stem-cell transplantation	小川一英	循環器・血液内科
J Atheroscler Thromb 17 (6), 578-589, 2010	Advanced glycation end product-mediated matrix metallo-proteinase-9 and apoptosis via renin-angiotensin system in type 2 diabetes	石橋敏幸	循環器・血液内科
Mech Ageing Dev 131 (11-12), 710-717, 2010	Aging impairs myocardium-induced dilation in coronary arterioles: role of hydrogen peroxide and angiotensin	待井宏文	循環器・血液内科
Fukushima J Med Sci 56 (1), 1-16, 2010	Attenuation of ischemic myocardial injury and dysfunction by cardiac fibroblast-derived factor(s)	中里和彦	循環器・血液内科
J Atheroscler Thromb 17 (6), 590-600, 2010	Blockade of renin-angiotensin system attenuates advanced glycation end products-mediated signaling pathways	上岡正志	循環器・血液内科
Fukushima J Med Sci 56 (2), 115-120, 2010	Flow-mediated dilatation identifies impaired endothelial function in patients with sleep apnea syndrome	義久精臣	循環器・血液内科
Fukushima J Med Sci 56 (2), 107-114, 2010	Hematopoietic stem cell transplantation in the department of hematology, Fukushima Medical University	小川一英	循環器・血液内科
Int Heart J 51 (2), 125-128, 2010	Hydrogen peroxide generated from cardiac myocytes impacts metabolic dilation in coronary arterioles	大竹 敦	循環器・血液内科
Int J Hematol 91 (4), 602-610, 2010	Low concentration of serum haptoglobin has impact on understanding complex pathophysiology in patients with acquired bone marrow failure syndrome	七島 勉	循環器・血液内科
Eur J Pharmacol 645 (1-3), 127-134, 2010	Metabolic regulation of coronary vascular tone: role of hydrogen peroxide, purinergic components, and angiotensin	金城貴士	循環器・血液内科
J Atheroscler Thromb 17 (1), 54-63, 2010	Preventive effect of chronic endothelin type A receptor antagonist on coronary microvascular spasm induced by repeated epicardial coronary artery endothelial denudation in pigs	大杉 拓	循環器・血液内科
Cardiovasc Res 88 (3), 492-501, 2010	Preventive effects of pravastatin on thrombin-triggered vascular responses via Akt/eNOS and RhoA/Rac1 pathways in vivo	大河原浩	循環器・血液内科
Circ J 74 (12), 2556-2557, 2010	The nitric oxide synthase family and left ventricular diastolic function	竹石恭知	循環器・血液内科
心臓 42 (8), 1059-1065, 2010	非心臓手術周術期に遅発性ステント血栓症を発症した1例	三阪智史	循環器・血液内科
心臓 42 (8), 1072-1078, 2010	不完全型房室中隔欠損症の術後約30年でdiscrete subaortic stenosisをきたした1症例	義久精臣	循環器・血液内科
福島県医師会報 72 (7), 464-469, 2010	福島県急性心筋梗塞発症登録調査2009年集計	中里和彦	循環器・血液内科
Modern Physician 30 (臨時増刊), 96-99, 2010	ボセンタンにエポプロステノール持続静注療法を追加することで病態が改善した特発性肺動脈性肺高血圧症の2例	宮田真希子	循環器・血液内科
Tissue Antigens	Genetic association of Fc receptor-like 3 polymorphisms with susceptibility to primary biliary cirrhosis: ethnic comparative study in Japanese and Italian patients.	大平弘正	消化器・リウマチ膠原病内科
Dig Endosc	Feasibility of interventional endoscopic ultrasound using forward-viewing and curved linear-array echoendoscope: a literature review.	入澤篤志	消化器・リウマチ膠原病内科
Fukushima J Med Sci	Genetic association of Fc receptor-like 5 polymorphisms with susceptibility to primary biliary cirrhosis: ethnic comparative study in Japanese and Italian patients.	引地拓人	消化器・リウマチ膠原病内科

Nephrology Dialysis Transplantation, 26(1), 214-220, 2011	Skin autofluorescence is associated with renal function and cardiovascular diseases in pre-dialysis chronic kidney disease patients.	田中健一	腎臓高血圧内科、糖尿病内分泌代謝内科
Endocrinology, 152(2), 680-688, 2011	Aldosterone/Mineralocorticoid receptor stimulation induces cellular senescence in the kidney.	谷田部淳一	腎臓高血圧内科、糖尿病内分泌代謝内科
Nephrology Dialysis Transplantation, 26(2), 753-754, 2011	Peritoneal clearance and transport of methylglyoxal.	中山昌明	腎臓高血圧内科、糖尿病内分泌代謝内科
日本透析医学会雑誌, 44(1), 55-58, 2011	糸球体ろ過量が20mL/min/1.73m <sup>2</sup> 以下の症例における血清Cr、Ccr、推算GFRと実測GFRの関係	渡辺 毅	腎臓高血圧内科、糖尿病内分泌代謝内科
J Neurophysiol	Influence of short-interval intracortical inhibition on short-interval intracortical facilitation in human primary motor cortex.	宇川義一	神経内科
Clin Neurol Neurosurg	Efferent and afferent evoked potentials in patients with adrenomyeloneuropathy.	宇川義一	神経内科
Neurosci Letts	Quadri-pulse stimulation (QPS) induced LTP/LTD was not affected by Val66Met polymorphism in the brain-derived neurotrophic factor (BDNF) gene.	中村耕一郎	神経内科
Brain Stimulation	Some evidence supporting the safety of quadri-pulse stimulation (QPS).	生田目禎子	神経内科
Mov Disord	Triad stimulation frequency for cortical facilitation in cortical myoclonus.	宇川義一	神経内科
Experimental Neurology	Chemical preconditioning-induced reactive astrocytosis contributes to the reduction of post-ischemic edema through aquaporin-4 downregulation.	星 明彦	神経内科
Neurology	Effects of STN stimulation on the initiation and inhibition of saccade in Parkinson's disease.	宇川義一	神経内科
Restorative Neurology and Neuroscience	Quadripulse stimulation - A new patterned rTMS.	宇川義一	神経内科
神経治療学	反復磁気刺激のPDへの応用と新しい刺激法	宇川義一	神経内科
神経治療	治療としての反復磁気刺激 Parkinson病への応用と新しい刺激法	望月仁志	神経内科
重篤副作用疾患別対応マニュアル4	頭痛	宇川義一	神経内科
重篤副作用疾患別対応マニュアル4	運動失調	宇川義一	神経内科
Annual review 神経	神経根磁気刺激の開発	宇川義一	神経内科
Annual review 神経	PSPの小脳病変	宇川義一	神経内科
Annual review 神経	中枢神経疾患・筋疾患とアクアポリン	星 明彦	神経内科
よくわかるパーキンソン病のすべて	その他の治療:rTMSとECT	宇川義一	神経内科
brain medical 9	磁気刺激の治療への応用	宇川義一	神経内科
神経内科	反復磁気刺激によるParkinson病治療の確立	宇川義一	神経内科
General Thoracic and Cardiovascular Surgery 58(7): 348-351, 2010	Successfully resected intrathoracic low-grade fibromyxoid sarcoma.	Higuchi M	臓器再生外科学講座

Spine. 15;36(2):E86-94: 2011.	Effects of Asialo-Erythropoietin on Pain-Related Behavior and Expression of Phosphorylated-P38 Map Kinase and Tumor Necrosis Factor-Alpha Induced by Application of Autologous Nucleus Pulposus on Nerve Root in Rat.	佐々木信幸	整形外科
Spine. 15;36(2):E75-9: 2011.	Localization and Function of Insulin-like Growth Factor 1 in Dorsal Root Ganglia in a Rat Disc Herniation Model.	高山文治	整形外科
Spine. 15;35(18):1663-7: 2010.	Anti-Nociceptive Effect of Bovine Milk-Derived Lactoferrin in a Rat Lumbar Disc Herniation Model.	佐々木信幸	整形外科
Monthly Book Orthopaedics 23(10):1-4:2010.	特集:腰部脊柱管狭窄症診療戦略 腰部脊柱管狭窄(症)の診断サポートツール	大谷晃司	整形外科
脊椎脊髄ジャーナル 23(6):569-70:2010.	腰痛・下肢痛の評価法と診断サポートツール	紺野慎一	整形外科
脊椎脊髄ジャーナル 23(7): 691-5:2010.	特集:脊椎・脊髄疾患に伴う歩行障害-その病態、診断、治療 腰椎背筋群の運動時コンパートメント症候群	紺野慎一	整形外科
新薬と臨床59(11):55-68:2010.	腰部脊柱管狭窄に対する疫学的研究	紺野慎一	整形外科
臨床整形外科45(8):689-93:2010.	圧迫性脊椎脊髄疾患や四肢切断後の遺残性しびれの治療	大谷晃司	整形外科
Microsurgery	A modified technique for hepatic artery reconstruction in living donor liver transplantation	Okochi M	形成外科
日本マイクロサージャリー会誌	間置型血管吻合による皮弁の生着と血流量の検討	堀切 将	形成外科
Plastic and Reconstructive Surgery,	Aesthetic repair for syndactyly of the toes using a plantar rectangular flap	Kajikawa A	形成外科
Int J Dermatol 49; 345-346, 2010.	Coexistence of rheumatoid neutrophilic dermatosis and palmoplantar pustulosis.	Yamamoto T	皮膚科
J Dermatol 37; 26-41, 2010.	Animal model of systemic sclerosis.	Yamamoto T	皮膚科
Acta Derm Venereol 90; 194-195, 2010.	A case of sebaceous naevus of the leg with secondary developed trichoblastoma.	Kawakami Y, et al.	皮膚科
Dermatology 220; 46-48, 2010.	Increased serum levels of growth-related oncogene-alpha (GRO- $\alpha$ ) in patients with generalized pustular psoriasis.	Kato Y, et al	皮膚科
J Eur Acad Dermatol Venereol 24; 101-103, 2010.	A case of pemphigus herpetiformis with absence of antibodies to desmoglein 1 and 3.	Miura T, et al	皮膚科
Acta Derm Venereol 90; 106-107, 2010.	Cutaneous cryptococcosis in a patient with cirrhosis with HCV infection.	Miura T, et al	皮膚科
Int J Dermatol 49; 346-348, 2010.	Pyoderma gangrenosum following surgical procedures.	Kikuchi N, et al	皮膚科
Eur J Dermatol 20; 121-122, 2010.	Calcified angioleiomyoma.	Sakai E, et al	皮膚科
Acta Derm Venereol 90; 326-327, 2010.	Primary localized cutaneous amyloidosis in patients with scleroderma.	Kikuchi N, et al	皮膚科

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 村川 雅洋
管理担当者氏名	医療情報部長 向本 時夫

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医療情報部等	患者ごと又は記録ごとに分類し管理・保管している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	病院経営課	記録ごとに分類し管理・保管している。
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度の医療の研修の実績	病院経営課	
	閲覧実績	病院経営課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療連携・相談室	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課	
第規一則号第一に掲げる十の十一の第一項の各号及び第九の二十三第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	記録ごとに分類し管理・保管している。
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療連携・相談室	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医薬品安全使用部会
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医薬品安全使用部会
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医薬品安全使用部会
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医薬品安全使用部会
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床工学センター
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学センター
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学センター		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学センター		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 村川 雅洋 /
閲覧担当者氏名	病院経営課長 猪俣 太一郎 /
閲覧の求めに応じる場所	病院棟 3階 病院経営課 /

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0件
閲覧者別	医師	延	0件
	歯科医師	延	0件
	国	延	0件
	地方公共団体	延	0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	65.4 %	算定期間	平成22年4月1日～平成23年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数		9,247 人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		7,297 人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,759 人
	D: 初診の患者の数		20,673 人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容： 1 安全管理に関する基本的考え方 2 医療事故防止対策委員会、その他の組織に関する基本的事項 3 医療に係る安全管理のための従業者に対する研修に関する基本方針 4 事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 5 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 6 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針 7 患者からの相談への対応に関する基本方針 8 その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
・ 活動の主な内容： 1 委員会の管理及び運営規定の策定・改正に関すること 2 重要な検討内容について、患者への対応状況を含め管理者へ報告する 3 重大な問題が発生した場合に、速やかに発生の原因を分析し、改善策の立案及び実施並びに従業者への周知を図る 4 委員会で立案された改善策の実施状況を必要に応じて調査し、見直しを行う	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 5 回
・ 研修の主な内容： 医療に係る安全管理のための基本的考え方及び具体的方策について、従業者へ周知徹底を行うことで、個々の従業者の安全に対する意識、安全に業務を遂行するための技能やチームの一員としての意識の向上等を図るもの。	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 1 当院で発生した事故を委員会への報告する 2 あらかじめ定められた手順、事故収集の範囲等に関する規定に従い事例を収集、分析する。これにより当院における問題点を把握して、当院の組織としての改善策の企画立案及びその実施状況を評価し、当院においてこれらの情報を共有する 3 重大な事故の発生時には、速やかに管理者へ報告する	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (3 名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (2 名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
・ 所属職員： 専任 (4) 名 兼任 (4) 名 ・ 活動の主な内容： 1 委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び保存、その他委員会の庶務に関すること 2 事故等にかんする診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認を行うとともに、必要な指導を行う 3 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況について確認を行うとともに、必要な指導を行う。 4 事故等の原因究明が適切に実施されて居ることを確認するとともに、必要な指導を行う	

- 5 医療安全に係る連絡調整に関すること
- 6 その他医療安全対策の推進に関すること

⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

④・無



## 院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容：</li> <li>1 院内感染対策に関する基本的な考え方</li> <li>2 院内感染対策のための委員会、その他の組織に関する基本的事項</li> <li>3 院内感染対策のための従業者に対する研修に関する基本方針</li> <li>4 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</li> <li>5 院内感染発生時の対応に関する基本方針</li> <li>6 患者等に対する指針の閲覧に関する基本方針</li> <li>7 その他の院内感染対策の推進のために必要な基本方針</li> </ul>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の主な内容：</li> <li>1 委員会の管理及び運営規定の策定・改正に関すること</li> <li>2 重要な検討内容について、院内感染発生時及び発生が疑われる際の患者への対応状況を含め、管理者へ報告する</li> <li>3 院内感染が発生した場合は、速やかに発生原因を分析し、改善策の立案及び実施並びに従業者への周知を図る</li> <li>4 委員会で立案された改善策の実施状況を必要に応じて調査し、見直しを行うこと</li> </ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3 1 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容：</li> <li>院内感染対策のための基本的考え方及び具体的方策について、従業者へ周知徹底を行うことで、個々の従業者の院内感染に対する意識を高め、業務を遂行する上での技能やチームの一員としての意識の向上等を図るもの。</li> </ul>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院における発生状況の報告等の整備 ( 有・無 )</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容：</li> <li>1 院内のみでは対応が困難な事態が発生した場合、又は発生したことが疑われる場合に、地域の専門家等に相談が行われる体制の確保</li> <li>2 院内感染対策マニュアルの定期的な見直し</li> </ul>	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年3回 /
・ 研修の主な内容： 1 医薬品の有効性・安全性に関する情報、使用方法に関する事項 2 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書に関する事項 3 医薬品による副作用等が発生した場合の対応に関する事項	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (有・無) ・ 業務の主な内容： 1 医薬品の採用・購入に関する事項 2 医薬品の管理に関する事項 3 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する事項 4 患者に対する与薬や服薬指導に関する事項 5 医薬品の安全使用に係る情報の取扱いに関する事項 6 他施設との連携に関する事項	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 医薬品に係る情報のうち、必要なものは当該情報に係る医薬品を取り扱う従業者に迅速かつ確実に周知徹底を図る (ex. DIニュース、医療安全ニュース、院内報)	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年67回
・ 研修の主な内容： 1 医療機器の有効性・安全性に関する事項 2 医療機器の使用方法に関する事項 3 医療機器の保守点検に関する事項 4 医療機器の不具合等発生した場合の対応に関する事項 5 医療機器の使用に関して特に法令上遵守すべき事項	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 (有・無) ・ 保守点検の主な内容： 毎日点検 1 患者使用後点検 1 回/年・業者による点検	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 1 添付文書等の管理 2 医療機器に係る安全性情報等を当該医療機器に携わる者に適切に提供する 3 病院管理者への報告	